

木馬会会報 (第87号)

＊有馬記念特集＊



97/12/19

～木馬達の予想～

本紙 ドロンジョ

◎シルクジャスティス、メジロドーベル

○ダンスパートナー

とうとう本紙になってしまいました。すごい困った。何書いていいかわかんない。私の予想の仕方なんか、皆さんにお話し出来るようなものじゃありません。

先週、予想はばっちしでしたが、PATで馬券を買おうと思っていたら、起きたら15:23で、既に締め切られていました。すごいショック!! 久々の自信の目だったので大勝負しようと思っていたのに～!

そうということで、まるっきり回収率の悪いドロンジョの有馬記念の予想は、上記の通りです。友人に言ったら、「絶対ありえない、お前の馬券はのんでやる」とまで言われちゃいました。やっぱそうかなあ。とりあえず、ちょっとウンチクたれてみます。

友人:「メジロドーベルの調教ビデオ、あんまり良くなかったぞ。それでも買うの?」

ドロンジョ:「だって、吉田君が好きなんだもん。」

友人:「…。じゃあ、シルクジャスティスは?あの馬はG1級の馬じゃないよ。昔のツインターボとかそんなのと同じで所詮G2どまりだよ。エアとかマーベラスみたいな強い馬がいるのに、何でジャスティスがくるんだよ。」

ドロンジョ:「ツインターボって馬、知らないもん。そりゃあ、近走ジャスティスと藤田には裏切られっぱなしだけどさ。でも、今度こそは、てな感じで買ってみようかと思って～」

友人:「…。他は?」

ドロンジョ:「ダンスパートナー。引退だし、鞍上は牝馬の河内だし、斤量54kgだし。」

友人:「で、どうしてエアグルーヴを切れるんだ?」

ドロンジョ:「え～、だってけっこー使われ過ぎじゃん。きつそうなレース内容でさ。まあ、押さえにはするかもしれないけど、当日体重減っちゃってたら絶対買わない。あたしもさー、ここ最近5kgくらい落ちちゃって、胸がちっちゃくなっちゃってブラジャーがガバガバなんだよ。体力落ちたよー。だから…。」

友人:「バカ。お前のことなんて聞いてないよ。それより、マーベラスは何で切るんだ?お前の大好きな武だぞ、乗るの。」

ドロンジョ:「だって、マーベラス、骨折で5ヶ月休養でいきなり走ると言う?Gallopにはまだ少しデブかなって、武様もコメントしてたもん。それに武様、賞金、結構稼ぎ過ぎじゃん。」

友人:「……。お前、有馬、買わない方がいいぞ。」

チャンチャン♪

P. S. 昨日(12/17)、もんじゅの裁判の傍聴の抽選に行ったら当たっちゃった。倍率2.6倍だったのに。なんか、運を使い果たしちゃったみたい。

本紙陥落 トゥインクルダンディ

◎エアグルーヴ ○マーベラスサンデー、メジロドーベル

▲ダンスパートナー △サンデーブランチ

思いきって、あの熊沢騎乗のサンデーブランチを本命にしたかったが、前走あまりにも走らなすぎ。叩き上昇型だけに今回はダメか…。ということで、騎手が誰であろうと強いものは強い!のもとに本命はペリエのエアグルーヴ。武豊信者の私ではあるが、今回は休み明けのマーベラスサンデーには本命を遠慮してもらおう。エアの馬体を写真でみる限り、前走までの疲れはなさそう。唯一の不安は、初の中山コースだが、シルクのような脚質でもないし、阪神で勝っている(シルクは惨敗)ことから問題ないだろう。前走のように横綱競馬を見せてくれるだろう。

とはいっても、やはり不気味なのがマーベラスサンデー、そしてメジロドーベル。マーベラスがせめて1走でもしていれば…しかしあっさりとも勝ってもおかしくはない。メジロはどうしても吉田が気になるが、斤量に恵まれているだけに恐い。

同じく斤量有利なダンスが4番手。基本的にこの4頭で決まると思うので、今回はボックス買い。前述したとおり、シルクは中山ではいらぬ。私としては、おいしい(消える)人気馬だと確信している。

栄蔵の一番弟子 TP

～TPの屁理屈～

バブルの回避でちょっと面白味が薄れた印象の有馬記念。3頭が人気を集めそうだが、マーベラスは休み明け、グルーヴは連戦の疲れが出てくる頃。ということで荒れる要素もあるとみている。

予想は2頭軸でいく。マーベラスはどんな状況でも堅実無比の馬。2500ならバブルよりも上。幸い中間の動きも良いようだし、休み明けでもきっちり走る馬で心配はない。ペースが落ち着きそうなのも先行馬のこの馬にとっては有利。ドーベルは秋華賞以来だが、オークス、秋華賞のレースぶりを見るとここ数年の最強牝馬と比べても遜色はないのでは。十分間隔を取って使っており、フレッシュな状態で臨めるのも好材料。この2頭を軸とする。

押さえに一応グルーヴを上げるが、きついレースが続いており、この馬なら大丈夫とは言い切れない。なにしろ、古くはオグリキャップからトウカイテイオー、ヒシアマゾンといった超一流馬でさえ惨敗したのである。その最高級の馬たちと比べてそれより上とはいえない?あと2頭だが、タイキブリザードは惨敗後の引退レース。取合えず日本のファンの前で走り収めしようという意図がありありで、とても勝負にかかる雰囲気はない。シルクジャスティスはJCの時も書いたようにいつまでも後方一気のレースをしていてはだめである。しかも完璧に仕上げた菊花賞を勝てなかったからJCを使い、そして有馬と調子に疑問が残る。2着が決まった後で突っ込んでくるようなタイプだ。ではここで展開を考えてみると、カネツクロスが逃げるものの、3角であらあら一杯。3～4コーナーにかけてブリザードやらローゼンやら阪神3歳牝馬で無茶な乗り方をした(まだ根に持っている)ペリエ・グルーヴら先行馬が怒涛の

ごとく押し寄せてくるはず。武・マーベラスは宝塚でこの馬の勝ちパターンを会得したためすぐには動かないだろう。直線に入ると横に大きく広がっての叩き合い。このような展開で穴をあけるのは、内でじっとしている差し馬に他ならない。まずは勢いがあるティエムオオアラシ。4連勝中である。前走では折り合いに進境を見せし、荒れ馬場での差しが減法得意で、展開も向きそうだ。そして、ダンスパートナー。まさかエリザベスでエリモシクに負けるとは思わなかった。あのレースを見ると、勢いのある去年と今年のオークス馬には勝てないという力の衰えを感じてしまうが、ここは展開的に漁夫の利を得れそうである。だいたい有馬というのは天皇賞・秋に次いでとんでもない馬が来るG1である。力が足りないという思い込みは危険だ。この2頭を連穴に抜擢しよう。2頭とも内枠に入らないものか。

◎…マーベラスサンデー、メジロドーベル

▲…エアグループ、△…ティエムオオアラシ、ダンスパートナー

今年はどうやら回収率100%を超えるのは無理なようだ。来年は競馬を始めて10年目という節目に当たり、どうしても100%は超えねばなるまい。以下に来年の心構えを記そう。いつも2週間空いたあとの金杯で、競馬するのが嬉しくてついつい忘れてしまうのだが、来年からは心を鬼にして、遂行しようと思う。現在の回収率85.2%

①どのような状況でも、儲かるとする買い方をすること。

(朝から競馬場にいったり、新潟や福島競馬場に行くと、総てのレースを買うのはいいが、自信のないレースでもどうしても高倍率を狙ったり、無理な1点勝負をしたりしてしまう。このような時は複勝でも枠番でもいいから、できるだけ損をしない馬券を買う必要がある。かなざわは競馬で儲けることの鉄則は、「損をしないことである」と言ったぞ)

②検討段階で当たりそうもないと思う日はやらないこと。

(飲んだ日の夜とか、気分が乗らない日など、前日の検討段階でどうしても当たりそうもないと思う日が5回に1回くらいはある。そのような日はほとんど当たらないことが多いので、検討に何時間もかかったとしても当日は家族サービスするなどして馬券は買わない)

③やっている途中で今日は調子が悪いと悟ったら以降のレースは無理に買わない

(今日は儲けるぞ！という意気込みでレースをやり始めても、2、3レースやってみると、今日はだめそうだと感じることも5回に1回くらいある。友達と競馬場に行っている場合などは止めることはできないが、買い方を①で述べたように変える。PATでやってる場合は以降のレースはやらない。この考えの根底にあるのは「常に自分の予想スタイルは変わらない」ということである。つまり、自分の予想スタイルと結果が結びつく日もあれば相性が悪い日もある。相性が悪いと感じたら損害は最小限に押さえるべきだ)

④重賞とはいえ、他のレースの平均投資金額を大幅に上回ってはいけな

い。(重賞だからといって、配当金の率が上がるわけではない。重賞も一つのレースと考え、金額を張りすぎないこと。また、各買い目の投資金額に3倍以上の格差をつけないこと)

と、書いてくると「儲けるために競馬をやっているのか！」と怒られそうだが、私ははっきり、馬が好きで、馬券で儲けることは別物と割りきっている。1日競馬場にて、ちょこっと馬券を買ってレースを楽しむのも好きだが、それにプラスして自分の予想が当たって懐が暖まればもっと楽しいではないか！貧乏者の私にゃ、使える額が決まっておるのじゃ。ワッハッハ！！とかなざわいっせいバリの高笑いを残して今年の締めとしたい。1年間御静聴ありがとうございました。

ふえら

来週は私事都合でNYに行くため一足早く有馬記念を予想する。今年は牝馬の活躍が目立った。こういう年は最後も牝馬で締めくくられるような気がしてならない。連闘でそろそろ疲れが見えてもよさそうな気はするが牝馬の主役としては譲れないエアグループ、じっくり調整しここを狙ってきたメジロドパール、ラストランの女王ダンスパートナー。この3頭は絶対に外せない。一方牡馬の方はというと、休み明けでどういう走りを見せ、現役最強馬の名を奪取できるかが問われるマーベラスサンデー。米国で再び散りはしたものの、日本では実力を見せつけるかタイキブリザード。今回はこの5頭で勝負は決まるはずだ。そしてこの中で荒れた中山を力強く走りぬくのはやはり牝馬よりも牡馬ではないだろうか。いくら牝馬の年であっても男たるものここは譲れない。いや譲ってはいけな

◎タイキブリザード ○マーベラスサンデー

▲エアグループ、△メジロドーベル ダンスパートナー

Y O

◎…マーベラスサンデー ○…メジロドーベル

△…エアグループ、ダンスパートナー、タイキブリザード、シルクジャスティス
オースミタイクーン、ティエムオオアラシ

今年最後ということで投稿いたします。

◎は実績からいってマーベラスでしょう。3強の力は抜きん出ているものと思われます。たとえ骨折休養あけでも問題無いでしょう。今年エアに負けたバブルに昨

年天皇賞で負けていますが、昨年のバブルは今年とは違って気楽に

乗れたわけですし、タイム差や2500という距離、最後の底力という点からもやはりこの馬です。ただ骨折の影響で最後の踏ん張りが本

ライスシャワシャワの予想はよそう

◎…メジロドーベル、○…マーベラスサンデー、▲…シルクジャスティス

△…エアグループ、タイキブリザード、ダンスパートナー

10週連続G1もいよいよオースミの有馬記念。気づいたらこの時期という感じでの中したのも朝日杯だけという悲惨な状態。最後くらいスカッといきたい。

最後はメジロドーベルで勝負。4才牝馬が勝つにはちと荷が重い

い。秋華賞を快勝の後、エリザベスにも出走しそうな気配があったが、結局有馬一本に絞って回避。その間、みっちり調教を詰まれ、寸分の狂いもないはずである。53kgで出られるのも有利だし、今年勝たなかったらいつ勝つんだ！3年前にヒシアマゾンが2着に来た通り、4才牝馬のトップであれば十分に勝負になる。あの時は勝ったのがブライアンで相手が悪かっただけ。直線坂下から吉田のステッキに応え、怒涛の追い込みを見せてくれる。

さて、相手が問題。マーベラスは休み明け、天皇賞・JCと激走したグルーヴも状態は？、ブリザードは海外遠征帰りだし。しかし、何だかんだ言っても、相手筆頭は武豊・マーベラスサンデー。武がマーベラスにするかグルーヴにするかさんざん悩んだあげく選んだのがマーベラス。つまり、グルーヴよりは勝負になると判断したわけで、素人のこちらとしては、天才の判断を素直に受け入れるべきである。富士Sが例年通り1,800mなら使ったという記事も出ていたし、状態はOKであろう。今年の大阪杯を休み明けで勝っているように、鉄砲も大丈夫。とあれば、ローレル、トップガンがいない今、マーベラスが主役を勤めずにどうする。ドーベル逆転まで十分あろう。

3番手は使い詰めであるがシルクジャスティス。いくら叩き良化型といっても、そろそろ上がり目もなさそうであるが、新聞にはこの秋一番かもしれないという記事が出ているくらい。本来であれば、菊がピークであとは良くても平行線というところであろうが、グランプリということで今年買いつづけたこの馬の応援の意味も込めて3番手。菊・JCと本命にしてきたが、どうもあと一步のレースが続いた。いい脚は使っているものの掲示板に乗っただけ。展開に恵まれなかったりと、運の無さを感じるが、そろそろ爆発してもおかしくない。それとも、このまま終わってしまうのか？

以下、グルーヴ、ブリザード、ダンスパートナーの順。

ドーベル、マーベラス、グルーヴが1・2着すれば、文句なく年度代表馬であろう。しかし、万が一3頭ともこけてしまった場合、タイキシャトルだろう。短距離馬が年度代表馬というのも寂しいので、なんとしても3頭に頑張ってもらいたいものである。

21日で中央競馬が終わってしまい、いささか早すぎるが、最後くらいは当てないとまたしても、28日の東京大賞典へ遠征することとなる。アブクマポーロでいけるとは思うが、何としても今年は回避したいものである。

予想はウソヨ 四国の井崎

終わってみれば今年もタイムベースで良かった。A、B、Cの3頭が1、3、2着！ああ口惜し。ワシントンとスギノは追い出しのタイミングの差であらう。

タイキシャトル	0.50	+0.5	-0.1	-0.4	A
エイシンバーリン	0.50	-0.9	-0.7	-0.2	
ワシントンカラー	0.55	+0.1	+0.1	+0.2	B
キョウエイマーチ	0.65	-2.4	-0.7	-0.8	
スギノハヤカゼ	0.95	-0.2	-1.6	+0.4	C

キョウエイマーチはいい感じだったけれど、アップアップのバーリンにも負けたのはよくわからなかった。

さて今週は今年最後のグランプリ。なんとか当てたいが自信は……ない。今年最高のレースは春の天皇賞。衝撃的なレースでタイムも無茶苦茶速かった。そのため上位3頭はパンクしてしまった。マーベラスは復活してきたが苦しいのでは。エアグルーヴはジャパンカップよりも天皇賞の方がきついレースだったと思う。さて評価はどうなったか？

	PRJCTD	3走前	2走前	前走	
エアグルーヴ	0.55	+0.6	+0.1	+0.9	B
マーベラスサンデー	0.55	-0.3	+1.8	+0.8	A
メジロドーベル	0.30	-0.9	-1.4	-0.5	
ダンスパートナー	0.30	+0.6	-1.3	-1.0	
タイキブリザード	0.55	+0.6	米国	米国	d
シルクジャスティス	0.55	-1.3	-3.1	+0.5	
ローゼンカバリー	0.55	+0.2	-1.2	-0.2	e
カネツクロス	1.00	-4.0	-5.2	-5.2	
アロハドリーム	1.05	+1.2	+0.1	-2.0	C
ティエムオオアラシ	0.75	-0.9	-2.0	-0.4	

実績評価とタイム評価を掲載。G1の常連が出てきているため実績評価は大混戦。その中でも前評判通りに牝馬が上位を占めた。ただエア以外は牝馬限定のG1馬だけに過大評価は禁物であろう。タイム評価なら断然マーベラスサンデーだ。ここで一つ私の私見。武はペリエに弱い。今年は最多勝を更新してすごい勢いだ。が正月ペリエと一緒に競馬をしていた時のことをみんな忘れていないでしょう。武はペリエにコテンパンにやられて連対率2割そこそこであった。その苦しみを乗り越え今の武豊はあるのだ。これは素晴らしいが、ペリエへの劣等感は大きく未だ消えていない。したがってマーベラスはエアには先着できないだろう。なお、武は岡部を相手にはしていない。

昨日の日刊スポーツで馬の顔診断があったがエアグルーヴの美しいこと。今年のJCは例年よりも疲労度が少なかったような気がする。ファン投票1位で1人気は昔は堅い軸馬であった。本命はやはりエアグルーヴだ。

3連続5着（ホームラン馬）があり、かつ、1-3着の合計が4着以下の合計より1少ない（なにわの馬券師宮田氏おすすめ）で大激走サインの出ているローゼンカバリーを対抗に大抜擢。中山大得意で展開が有利。横山典は来年はリーディングを取るだろう。

単穴評価はマーベラス。仕上がりは悪くないと思う。あとは、実績評価上位のダンス、暖冬で「アロハー！」ドリームと、暖冬とは逆の名前であるが侮れないタイキブリザードといったところでしょうか。

◎ エアグルーヴ ○ ローゼンカバリー ▲ マーベラスサンデー

△ ダンスパートナー、アロハドリーム、タイキブリザード

それでは皆様よいお年を。

特別寄稿 赤山修司

ペリエが町にやってきた

「チャララン、チャララン…」、町はクリスマス一色。なんでクリスチャンでもない人がクリスマスを楽しみにしているんだろう。全く訳が分からない。日本人は日本人らしくなければだめだ。なんてことを考えていたら、下町の典型的な日本人、団子屋の寅を思い出したので、久しぶりに店を覗いて見ることにした。

「寅さん久しぶり、元気？」

「おっと、どちらさんで？」と、いやみを言われてしまった。「よく店への道順忘れてなかったな。それにしても何してたんだい。ここにくる以外、競馬しかしないような人間が。」

「まあ、いろいろと。それにしてもこの前『金杯で乾杯』なんていっていたら、もう有馬だよ、ほんと

に競馬の一年ははやいね。」と、話題を競馬に変えてしまえば、競馬に夢中になるはずである。

「去年もおとしも、毎年そんなこといってるじゃねーか。でも、ほんとにはやいや。」

「今年は俺のひいきのエアグルーヴで堅いだろう。それにやねも、0.ペリエだし。」

馬鹿いっちゃいけないよ、という顔をしながら、寅がこう言った。「確かにエアは強いけど、激しいレースが続けたから、疲れが心配だなー。それより疲れ知らずのピチピチコギル、メジロドーベルの方が今回は上と思うね。それに極秘情報だが、今回は白のルーズバンテージをはいて、コギルルックで走るらしいぜ。ハッ、ハッ、ハッ。」とつまらないギャグだが、なんだか訳のわからないことをいって勝ち誇っていた。すると、

「これだから男は駄目なのよ。すぐ女にだまされて、後でなくはめになるの。外人にヒョコヒョコ着いていくような若い女や、元気だけがとりえのコギルなんか駄目。女はいろいろ経験して、本当にいい女になるの。ちやほやされた経験、海外経験、男社会にもまれて歯をくいしばって生きてきた経験。そういう経験が本当にいい女をつくるのよ。だからここもダンスパートナーで決まり。」と、ミスヘルスの緑ちゃん。「世の中不景気で、最近仕事が暇で。競馬で負けるお金があるんなら、うちの店で遊んでよ。」と、グチまでこぼされてしまった。

いずれにせよ、今年の有馬は、この牝馬三頭の争いだろう。駄目な男の中から、あえてひもを探せば、上り馬ティエムオオアラシ、ユーワジェームスとだぶるシルクジャスティス、中山巧者のローゼンカバリー、去年あっといわせたマイネルブリッジ。

最高の女をそでにした武豊は、レースの後、ものすごく後悔することだろう。人生でも、別れた後に、本当の相手のよさに気づいて後悔するもの。

店をでると、そこは真冬の夜。相変わらず、派手な音楽が聞こえてくる。ただ、さっきはうるさいとしか思わなかった町でなっているクリスマスソングが、「0.ペリエ イズ カミング トゥ タウン…」と聞こえてきた。きっとペリエが私に「有馬記念的中」というプレゼントを運んできてくれるのだろう。そう思うと、クリスマスというのも、まんざら悪いものでもなさそうだ。みんながクリスマスを楽しみにしているわけが、少しわかったような気がした。

Merry Christmas & Happy New Year!!

◎ エアグルーヴ ▲ メジロドーベル、ダンスパートナー

△ティエムオオアラシ、シルクジャスティス、ローゼンカバリー、マイネルブリッジ

今週から本紙が変わり、ドロンジョになりました。数えて九代目になります。トゥインクルダンディはTPのもつ最長本紙保持期間(21G1)に並んだところで落ちてしまいました。これからドロンジョがどこまで防衛するのでしょうか。

初代 平成7年桜花賞～平成8年桜花賞 TP

二代目 平成8年皐月賞 ヘナ

三代目 平成8年天皇賞・春～NHKマイル 四国の井崎

四代目 平成8年オークス～ダービー TP

五代目 平成8年安田記念～平成8年エリザベス女王杯 ヘナ

六代目 平成8年マイルCS トゥインクルダンディ

七代目 平成8年ジャパンカップ～平成8年朝日杯 TP

八代目 平成8年スプリンターズS～平成9年スプリンターズS トゥインクルダンディ

九代目 平成9年有馬記念～ ドロンジョ

第42回 有馬記念

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
					アロハドリム	メジロドーベル	シルクジャスティス	マウンテンストーン	エアグルーヴ	サンデーブランド	タイキブリザード	オースミタイクーン	ティエムオオアラシ	カネツクロス	マイネルブリッジ	マイネルマックス	ローゼンカバリー	マーベラスサンデー	ダンスパートナー	インターユニーク	馬名
					加藤	吉田	藤田	蛸名正	ペリエ	熊沢	ロバート	武幸	土肥	的場	藤原	佐藤哲	横山典	武豊	河内	小野	騎手
						◎	◎												○		ドロンジョ
						○			◎	△								○	▲		トゥインクルダンディ
						◎			▲				△					◎	△		TP
						◎	△	△	△	△							△	△			おけらくん
						△			▲		◎							○	△		ふえら
						○	△		△		△	△	△					◎	△		YO
						◎	▲		△		△							○	△		ライスシャワー
						△	◎		△		▲						△	○			心配御無用!
						○		△	△		△		△					◎	▲		へなりん
						◎	△		△		△							◎			ミスターX
						◎	△		▲									△	○	△	ラッキー
						△	△		△		△						△	○	◎	△	ミスターX

ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ	有馬	ﾌｪﾌﾞ	桜花	皐月	天春	NHK	高松	オークス	優駿	安田	宝塚	秋華	天秋	菊花	女王	マイル	JC	阪神	朝日	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ
ドロンジョ	○	○				○	○			○	○	○	○		○	◎	○		○	○
トゥインクルダンディ	○	○	○				○	☆			○	○	○		○	○	○		○	○
TP			○			○	○					○	○		○	◎	○		○	○
おけらくん	○					○	○			○	○	○	○		○	◎		☆	○	○
ふえら	○		○			○	○			○	○	○	○		○	○			○	○
YO						○	○	☆		○	○	○	○		○	○			○	○
ライスシャワー	○	○				○	○				○	○	○		○	◎			○	○
心配御無用!			○			○	○				○	○	○		○	○			○	○
へなりん	○					○	○		◎	○		○	○		○				○	○
ミスターX	○	○				○	○				○	○	○		○				○	○
ラッキー						○	○				○	○	○				○		○	○
ミスターX	○										○									○

○…～20倍 ◎…20～50倍 ☆…50倍～

今年1年ご苦労様でした。来年は、2月1日のフェブラリーS号でお会いしましょう。